

3 地区別住民懇談会

本計画の策定にあたり、住んでいる地域の現状を理解し、今後どうあるべきか、そのために何が出来るのかを、住民自らで共有し、その中から生まれた声を計画に反映させるために、市内 13 地区において、自治会、民生委員・児童委員、PTA、老人クラブ、ボランティア、NPOなど各種団体はもとより、多くの地域住民の方からも参加いただき、延べ 317 名の参加がありました。

開催地区名 (小学校区)	開催期日	時 間	会 場	参加 人数
三 条 (三条・裏館・上林)	H20. 7. 17(木)	19 : 00～	中央公民館	28
一ノ木戸 (一ノ木戸)	H20. 7. 19(土)	10 : 00～	第二中学校 武道場	27
四日町 (四日町)	H20. 7. 2(水)	19 : 00～	総合福祉センター	16
島 田 (条南・南)	H20. 7. 4(金)	19 : 00～	総合福祉センター	28
井 栗 (井栗・旭・保内)	H20. 8. 5(火)	19 : 00～	第四中学校 体育館	28
本成寺 (月岡・西鱈田)	H20. 7. 8(火)	19 : 00～	総合福祉センター	15
大 崎 (大崎)	H20. 7. 10(木)	19 : 00～	サンファーム	53
大 島 (須頃・大島)	H20. 7. 28(月)	19 : 00～	大島公民館	10
福 多 (栄中央・栄北)	H20. 7. 30(水)	19 : 00～	農村環境改善センター	31
大 面 (大面)	H20. 7. 23(水)	19 : 00～	農村環境改善センター	21
長 沢 (長沢・笹岡・大浦)	H20. 7. 23(水)	19 : 00～	下田公民館	21
森 町 (森町・荒沢)	H20. 7. 26(土)	13 : 30～	漢学の里	17
鹿 峠 (飯田)	H20. 7. 25(金)	19 : 00～	ウェルネスしただ	22

【 方 法 】

各地区とも参加者には班別に分かれていただき、参加者全てが発言できるように「ワークショップ*方式」で、開催しました。下記のように、模造紙に参加者一人ひとりが付箋を貼って、発言していただきました。

- ・ 最初に①から始めます。一人2枚の付箋を使います。1枚に1つ書き入れます。順番に貼り出して、班内の参加者全員の発言が終わったら、同じ意見の付箋をグループ化（集約）します。
- ・ 次の②へ進みます。①と同様意見を出し、集約します。③も同様です。
- ・ ④のところは、自助、共助、公助それぞれ付箋1枚を使います。
- ・ 全員が貼り終えたら、同じ意見を集約します。全体を確認し、参加者で共有します。
- ・ 最後に班毎に発表していただきます。
- ・ 全体の内容を共有し、地域の現状とこれからを考えるきっかけとします。

私たちの住んでいるまち（地域）のことを考えてみましょう！	
①私たちのまちのいいところ (自慢できること など)	②困っているところ（気になるところ） (近所のこと・高齢者のこと・子どものこと・障がい者のこと・環境のこと・危ないと思うこと など)
③こんなまちであつたらいいな (地域の理想像・夢や希望 など)	④私にできること（自助）
	④地域や私たちにできること（共助）
	④行政や団体に求めること（公助）

※ **ワークショップ**…日本では体験型講座をさす用語。進行役により、参加者が自発的に作業の場を整えて、参加者全員が体験するものとして運営される会議や研修の手法としてよく用いられる。

次項以降に、各地区の集計結果を掲載します。それぞれの地域の特徴が現れています。

地区別住民懇談会 集計結果

三 条 地 域	三条・一ノ木戸・四日町・島田・井栗・本成寺・大崎・大島
栄 地 域	福多・大面
下 田 地 域	長沢・森町・鹿峠

懇談会の風景

